

別 冊

平成 28 年度

事 業 報 告 書

社会福祉
法 人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	3
(3) 小口資金等償還促進事業	3

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) ボランティアセンター運営事業	4
(3) 社協会員加入促進事業	7
(4) まごころ銀行運営事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8

(2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8
③地区社協基盤整備事業	8

(3) 地域福祉活動啓発事業

①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	9
③ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業	9
④福祉サポートフェスタ開催事業	10
⑤「耳の日」のつどい開催事業	10
⑥若草映画鑑賞事業	11
⑦北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業	11

[新規]	⑧春夏秋冬（しき）笑顔まつやま福祉五七五事業	11
--------	------------------------	----

[新規]	⑨親子等めがね講座事業	12
--------	-------------	----

[新規]	⑩地域で広げる「まつやま介護予防体操」製作事業	12
--------	-------------------------	----

(4) 地域交流支援事業	
①マイクロバス運行事業	12
②地域交流サロン運営事業	13
③道後温泉廃棄浴衣活用事業	14
④であいと学びの親子体験会	14
⑤子育て親子・小・中学生交流授業開催事業	15
⑥福祉団体助成事業	15
(5) 見守り支援事業	
①安心カードみまもり支援事業	15
②認知症高齢者SOSネットワーク事業	15

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業	16
(2) 障がい者総合相談窓口事業	16
(3) 福祉サービス利用援助事業	18
(4) 福祉資金貸付事業	
①生活福祉資金貸付事業	18
②臨時特例つなぎ資金貸付事業	18

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	19
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	21
(3) 番町福祉センター管理事業	21
(4) 北条社会福祉センター管理運営事業	21
(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業	22

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業	
①愛の一声訪問事業	23
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	23
③配食サービス事業	23
④福祉機器貸出事業	23
⑤中高年出合いイベント事業	23
⑥小地域防災ネットワーク構築事業	24

(2) 介護予防促進事業

- ①離島介護サービス対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ②ふれあい・いきいきサロン運営事業・・・・・・・・・・・・ 25
- ③松山健康づくり体操教室事業（若草）・・・・・・・・・・ 26
- ④まつやまシニアカレッジ事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

(3) 聴覚総合支援事業

- ①聴覚総合相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ②手話通訳者設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ③意思疎通支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ④意思疎通支援者養成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑤聴覚障がい者等生活訓練事業・・・・・・・・・・・・・・ 29

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 30
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・ 30

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ②ケアプラン評価等事業（ケアマネジメント適正化推進事業） 31
- ③介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

- [新規] ④まつやまケアサポステーション事業・・・・・・・・・・ 31

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (2) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- (3) 市民後見推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ②福祉定期講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

【はじめに】

急速な少子・高齢化の進展や地域コミュニティにおける人間関係の希薄化等、地域住民を取り巻く環境が大きく変化する中、地域社会においては生活困窮や社会的孤立、社会的弱者への虐待等深刻な生活課題が顕在化し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が課題となっております。

こうした中、松山市社会福祉協議会では「平成 28 年度事業計画」に基づき、地域福祉活動の要となる地区社協への活動支援や医療分野をはじめとする関係機関・団体、民間企業等との連携・協働を図りつつ、高齢者や障がい者、生活困窮者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めて参りました。

また、本会の特性である公平性・中立性を最大限に活かした要介護認定訪問調査事業をはじめとする各種事業の適正な実施と平成 29 年 4 月から施行された社会福祉法の改正に対応するための手続きをはじめ、社協会員の拡充やイベントを通じた広報啓発活動の強化に努めるなど、社会福祉協議会への理解者の拡大と使命である地域福祉の推進に積極的に取り組んで参りました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成に取り組むとともに、平成 29 年 4 月から施行された社会福祉法の改正に伴い関連する各種手続きを行うなど、適正な法人運営に努めた。

ア. 理事会の開催

開催日	出席者数	議案
平成 28 年 5 月 31 日	14 名	平成 27 年度事業報告について 平成 27 年度収支決算について 評議員の委嘱について
平成 28 年 5 月 31 日	16 名	会長・副会長の選任について 会長職務代理者の選任について 名誉会長について
平成 28 年 12 月 22 日	14 名	評議員の委嘱について 定款の全部変更について 評議員選任・解任委員会の運営に関する規程について 評議員選任・解任委員会外部委員の委嘱について 評議員の選任候補者の推薦に関する規程の制定について 評議員選任候補者の推薦について
平成 29 年 3 月 27 日	14 名	平成 28 年度資金収支補正予算について 平成 29 年度事業計画について 平成 29 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 給与規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 評議員選任候補者の推薦について

イ. 評議員会の開催

開催日	出席者数	議案
平成28年5月31日	37名	平成27年度事業報告について 平成27年度収支決算について 役員を選任について
平成28年12月22日	41名	役員を選任について 定款の全部変更について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について
平成29年3月27日	39名	平成28年度資金収支補正予算について 平成29年度事業計画について 平成29年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 役員を選任について 外

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席者数	議案
平成29年3月27日	5名	評議員の選任について

エ. 実習生の受入等

受入学校数	受入人数	実習内容
4校	68名	相談援助実習や臨地実習等

オ. 自然災害に伴う被災地支援活動

【自主事業】

・支援活動（街頭募金等）

（平成29年3月31日現在）

実施日	参加人数	活動状況	募金総額
平成28年4月29日 ～	延べ 1,608名	被災地への職員派遣 5名 街頭募金活動 延 21回 募金箱の設置 101箇所	4,896,882円

・自然災害に伴う被災地支援寄付金配分委員会の開催

開催日	出席者数	報告事項及び審議事項等	配分先（金額）
平成28年7月7日	8名	委員紹介 委員長・副委員長の選任について 寄付金の配分等について	嘉島町社会福祉協議会 (1,000,000円)
平成28年10月21日	7名	配分委員会設置要領の一部改正について 第1回寄付金の配分等について 第2回寄付金の配分等について 台風10号災害支援状況について	熊本市社会福祉協議会 (1,000,000円) 嘉島町社会福祉協議会 (500,000円)
平成29年2月1日	8名	第2回寄付金の配分等について 糸魚川市駅北大火被災地支援について 第3回寄付金の配分等について 台風10号及び鳥取県中部地震被災地支援寄付金の配分等について	熊本市社会福祉協議会 (500,000円) 嘉島町社会福祉協議会 (300,000円) 糸魚川市社会福祉協議会 (294,010円) 岩泉町社会福祉協議会 (300,000円) 倉吉市社会福祉協議会 (300,000円)

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

事務事業の効率化及び情報の共有化を図るため、パソコン等の情報機器を整備するとともに、情報機器等の安全な運用管理に努めた。

設置台数	117 台
------	-------

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により回収を行った。

資金名称	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	13 件	46,000 円
母子家庭等小口資金	6 件	12,000 円
合 計	19 件	58,000 円

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合 計
327 名	1,873 名	2,200 名

・活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数	サービス内容
4,992 回	8,892.5 時間	17,785 点	サロン活動、地区社協事業支援等、話し相手、相談、定期訪問等

・福祉学習事業

助成地区	助成額	開催回数	備 考
38 地区	3,455,000 円	156 回	・ 1 地区 80,000 円以内 ・ 新規事業 1 地区 100,000 円以内

イ. 諸会議の開催

会議名	内 容 等
地区社協会長・事務局長連絡会	開催日 平成 28 年 4 月 18 日 会 場 市総合福祉センター 5 階 中会議室 出席者数 73 名（地区社協会長・事務局長 外） 報告事項 (1) 地区社会福祉協議会連絡会活動状況について (2) 地域福祉サービス事業活動状況について (3) ふれあい・いきいきサロンの活動状況について (4) 今後の介護保険制度について 説明事項 (1) 平成 28 年度地区社協関連事業実施計画について (2) 提出書類について (3) 地区社協地域福祉活動計画策定進捗状況について

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査

実施地区	市内地区社協（17 地区）
調査期間	平成 28 年 5 月 ～ 平成 29 年 2 月
内 容	各地区を訪問し、会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施。

・地区社協だよりの発行

実施地区	発行回数	内 容
39 地区	63 回	地区内各世帯への配布による、地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

(2) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大を図った。

ア. 運営

・運営委員会の開催

開 催 日	出席者数	協 議 事 項
平成 28 年 8 月 12 日	7 名	・平成 28 年度[4-7 月]事業報告について ・平成 28 年度[8-3 月]事業計画について
平成 29 年 3 月 10 日	8 名	・平成 28 年度事業報告について ・平成 29 年度事業計画（案）について 外

・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

ボランティア活動の推進に向け、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を図る松山市ボランティア連絡協議会の運営協力や事業助成を行った。

イ. ボランティアコーディネート

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進を図った。

・登録数及び相談件数

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

団 体	501 団体・31,918 名（新規：14 団体・1,261 名）
個 人	2,508 名（新規：261 名）
電話・来所相談	延 5,606 件

・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供することによって、活動の推進及び福祉観の醸成を図った。

項 目	学校数等	延件数	延参加者数	内 容
小 学 校	39 校	69 件	6,591 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学習等
中 学 校	6 校	7 件	726 名	
そ の 他	28 団体	48 件	1,327 名	
合 計	45 校・28 団体	124 件	8,644 名	

・各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に協力を行った。

主な協力事業等

イベント名	主催団体	活動者数
第 31 回トライアスロン中島大会	松山市・トライアスロン中島大会 実行委員会	88 名
平成 28 年度 松山市障害者ふれあいスポーツ大会	松山市障害者団体連絡協議会	100 名
松山市障害者団体連絡協議会 「じっとしと連」	松山市障害者団体連絡協議会	12 名
第 18 回ふれあいの祭典	松山市障害者団体連絡協議会	19 名
障がい者へのおもてなし向上講習会	日本旅館協会愛媛県支部	44 名
その他	まつやま NPO サポートセンター運営協議会 外 9 団体	28 名
合計	延 12 団体・16 事業	291 名

ウ. 情報収集・提供

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供を行った。

項目	内容等	
「おせたい通信」の発行	発行回数	年 12 回
	発行部数	4,400 部
	配布先	ボランティアグループ、個人ボランティア、 福祉関係団体、市関係機関、 民生児童委員協議会、各大学、企業等 850 ヶ所
メールマガジン	登録者数	1,214 名（新規：36 名）
携帯電話ボランティア情報 システムによる情報提供	登録者数	1,199 名（新規：102 名）
	送信回数	29 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	1,183 施設
ホームページ	アクセス数	3,326 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	35 件（相談件数：56 件）

エ. ボランティアの学習支援

講座名	開催日 / 会場 / 講師	回数	延参加者数
傾聴ボランティア養成講座	平成 28 年 8 月 4 日 ～ 9 月 29 日 市総合福祉センター 外 講師 福本 由美氏 (キャリア・コンサルティング技能士)	5 回	135 名
災害ボランティア養成講座	平成 29 年 1 月 14 日 ～ 28 日 市総合福祉センター 講師 森田 康裕氏 (愛媛新聞社編集局記者) 二神 透氏 (愛媛大学准教授) 等	3 回	66 名
ボラカフェ ～はじめてのボランティア～	平成 28 年 6 月 ～ 平成 29 年 3 月 市総合福祉センター 講師 市ボランティア連絡協議会等	5 回	52 名
おもてなし ボランティア講座【若草】 [新規事業]	平成 28 年 9 月 10 日 ～ 24 日 市総合福祉センター 講師 高橋 信行氏 (愛媛県立松山盲学校 教諭)	3 回	41 名
おもてなし ボランティア講座【北条】 [新規事業]	平成 28 年 12 月 26 日 ～ 28 日 市北条社会福祉センター 講師 高橋 信行氏 (愛媛県立松山盲学校 教諭)	3 回	53 名
ボランティア コーディネーター研修会 (施設編) [新規事業]	平成 28 年 7 月 9 日 市総合福祉センター 講師 筒井 のり子氏 (NPO 法人日本ボラン ティアコーディネーター協会前代表理事)	1 回	37 名
災害ボランティア フォローアップ研修会 [新規事業]	平成 28 年 9 月 3 日 市総合福祉センター 講師 山内 直子氏 (NPO 法人宮城県レクリ エーション協会事務局長)	1 回	75 名

オ. 第 55 回愛媛マラソン直前清掃ボランティア活動

新たなボランティア活動を企画し取り組むことで、実践機会の提供とボランティア相互の交流促進を図るため実施した。

日 時	平成29年 2 月 5 日 10 : 00 ～ 11 : 00
コ ー ス	国道196号本町 3 丁目交差点～ ①②市道中央環状線(平和通り) 西一万交差点 ③本町 6 丁目消防局前交差点 ④西堀端入口本町1 交差点(フィニッシュ) ※ 4 コースに分かれての清掃活動
参 加 者	129名

(3) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため会員の加入促進に努めるとともに、希望する会員（企業等）に対してはホームページや掲示板等に名称を掲載し紹介を行った。

ア. 加入状況

(平成29年3月31日現在)

会員種別	会員数	口数	金額
個人会員（個人）	2,028名	3,080口	3,080,000円
特別会員（団体）	577団体	587口	2,765,000円
賛助会員（企業）	134社	149口	1,490,000円
合計	—	—	7,335,000円

イ. 会員紹介状況

対象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページや情報誌等への名称掲載	45名・130団体 120社
賛助会員 2口以上の特別会員	市社協ホームページとのリンク設定 市総合福祉センター内パンフレットコーナーの活用	24団体・120社

(4) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れするとともに、物品については寄付者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行った。

ア. 受入状況等

種別	受入	件数	受入・払出先
金銭	3,530,426円	52件	市社協
物品	みかん	1件	高齢者福祉施設19ヶ所、障がい者福祉施設8ヶ所 愛寿会、白寿会、かなさんどう外1ヶ所
	りんご	2件	児童福祉施設4ヶ所
	車椅子	1件	市社協

*タイアップ企画：「災害時用携帯トイレ」等の売り上げの一部を寄付（50,000円）

イ. 交通災害遺児見舞金

各地区で民生委員・児童委員が18歳以下の交通・災害遺児の実態把握を行い、寄付者の意思に基づき見舞金を配布した。

項目	内容等
申請者数	42名
見舞金総額	630,000円（15,000円 / 1名）

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった 65 歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握を行った。

項 目	内 容 等
申 請 者 数	210 名
見舞金総額	630,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

内 容	件 数	支給総額
住宅火災等	7 件	140,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	0 件	0 円
合 計	7 件	140,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

地域福祉の推進を図るため、各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成した。

助 成 先	助 成 額
市内全地区社協 (40 地区)	35,074,109 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進することにより、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化を図った。

会議名	内 容 等
全体会	開 催 日 平成 28 年 4 月 18 日 会 場 市総合福祉センター 参加者数 73 名 講 演 会 演題 「ケンシカンカン癒しと福祉のまちづくり」 講師 岡崎 直司氏 (近代化遺産活用アドバイザー)
情報交換会	開 催 日 平成 28 年 12 月 20 日 会 場 いよてつ会館 参加者数 88 名 (地区社協会長・事務局長等) 内 容 各地区社協活動の情報交換

③地区社協基盤整備事業

地区社協を対象に拠点開設時の備品整備のための助成を行い、地区社協活動を支援した。

助 成 先	助 成 内 容
余土地区社会福祉協議会	拠点整備事業助成 300,000 円

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

① 広報啓発事業

広く市民に市社協の啓発を図るため、社協だよりの発行や各種イベントへの参加のほか、フェイスブックを活用した広報活動等を通して市社協及び事業の紹介を行った。

項 目	内 容 等
社協だよりの発行	年2回（約243,000部 / 1回）
ラジオでのイベント・事業等紹介	年4回（南海放送「みんなの松山」）
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚 市社協・共同募金運動・日本赤十字社啓発用
オリジナルクッキーの作成	3,000個（共同募金運動・若草福祉まつり等で配布）
イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 えひめ （10月1日・2日） 職員参加 85名 (2) 暮らしの相談会 in 太陽市 （5月21日・22日） 職員参加 30名
ホームページの運営	(1) 松山市社会福祉協議会（123,756件） (2) 松山市ボランティアセンター（9,910件） (3) いきがい交流センターしみず（988件） (4) まつやまバリアフリーマップ（3,326件）
松山市政記者クラブへの報道資料	45事業（内21件取材）

② 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2016」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

*総合福祉センター管理・運営事業（P-20）に再掲

③ ふれあいフェスティバル（わかくさファミリーまつり）開催事業

子どもの日にちなんだイベントを協賛企業（社協会員：3社）やボランティア（3団体）と連携して開催し、子どもたちが楽しめる映画や昔懐かしの駄菓子屋コーナー等を通じ、世代間の交流や子どもたちの健やかな育成を図るとともに、市社協事業の啓発や理解者の拡大に努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成28年5月1日
会 場	市総合福祉センター 1階 ロビー・大会議室
参加者数	約1,200名
内 容	○映画コーナー（ひつじのショーン、ミニオンズ） ○あそびコーナー（スイーツデコ、プラ板、スクラップブック作り、バルーン、ジャグリング、母の日プレゼントづくり） ○販売コーナー（駄菓子屋、花の苗販売、中島産直販売、食べ物販売等） ○射的・ストラックアウト 等

④福祉サポートフェスタ開催事業

子どもから高齢者までの世代間交流やふれあいを通じて学習の場や福祉の情報提供を行い、福祉力の向上に努めるとともに、企業の参加・協力（協賛企業 13 社：社協会員）を促すことで連携・協働を深め、福祉活動への理解促進と企業の社会貢献活動の拡大を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 7 月 30 日・31 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 1,000 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○協賛企業啓発コーナー（13 社） ○コンサート LIVE ○特設ステージ LIVE（「お遍路さんどうぞ」に出演中の吉田葵と脇山尚美がお届けする歌とお話のステージ） ○鑑賞展示コーナー （フラワーアレンジメント教室、宝石すくい、プラ板キーホルダーづくり、スーパーボール等） ○相談コーナー（介護相談、行政書士相談、不動産相談、空家管理相談） ○撮影コーナー （キャラクターと一緒に写真を撮ろう！、今話題の寝相アートでパチリ！） ○お食事コーナー ○スタンプラリー 等

⑤「耳の日」のつどい開催事業

「耳の日」にちなんだイベントを協賛企業（社協会員：4 社）や関係団体（社協会員等：19 団体）と連携して開催し、「聞こえない・聞こえにくい」ことについての理解者や活動者の増大を図り、障がい者福祉の増進を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 3 月 5 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 ロビー・大会議室
参加者数	約 1,100 名（聴覚障がいに関わる福祉関係者及び一般市民）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○耳に関する講演会「認知症診療で感じられる聴覚との関係」 講師 谷向 知氏（愛媛大学大学院医学研究科） ○手話パフォーマンス ○スタンプラリー ○相談コーナー（聴力検査、補聴器、磁気誘導ループ、UD トーク、携帯電話、福祉一般、権利擁護等） ○当事者団体・ボランティア連絡協議会によるバザー 等

⑥若草映画鑑賞事業

敬老週間にあわせた映画鑑賞を通じて、高齢者をはじめ地域の方々が今後の生きがいや地域づくりを考える「きっかけ」とするとともに、9月21日の世界アルツハイマーデーにちなみ、総合福祉センターをオレンジ色にライトアップしアルツハイマーについて理解・啓発を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 9 月 19 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
参加者数	約 330 名
内 容	映画 「ポプラの秋」 (上映時間 98 分) 上映回数 2 回 (午前 1 回・午後 1 回)

⑦北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体（協賛企業 11 社・18 団体）が協働し、各種イベントやコーナーでのふれあいを通じて社会福祉協議会や福祉活動への理解促進、ボランティア活動の拡充を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 28 年 12 月 3 日
会 場	北条社会福祉センター
参加者数	約 1,200 名
内 容	○ステージ発表（北条北中学校、北条幼稚園児発表外） ○バザーコーナー ○娯楽コーナー ○作品展示コーナー ○お楽しみ抽選会 ○福祉心の塔 等

⑧春夏秋冬（しき）笑顔まつやま福祉五七五事業

【新規事業】

福祉啓発活動の一環として福祉をテーマとした俳句を季節ごとに募集し、福祉への理解を深めるとともに、市総合福祉センターに掲示することで松山らしい福祉情報を発信した。

季節	募集期間	投句数	入選句数
春	平成 28 年 4 月 18 日 ～ 5 月 4 日	463 句	30 句
夏	平成 28 年 6 月 3 日 ～ 7 月 31 日	154 句	23 句
秋	平成 28 年 8 月 7 日 ～ 10 月 31 日	229 句	30 句
冬	平成 28 年 11 月 7 日 ～ 平成 29 年 1 月 31 日	333 句	30 句
合計		1,179 句	113 句

⑨親子等めがね講座事業

【新規事業】

生活環境の変化に伴い子どもの視力が低下傾向にある中、子育て中の親子等を対象に「視力」や「めがね」についての正しい知識・情報を提供することで、子どもの日常生活や学力の維持向上等を図ることを目的に開催した。

開催日 / 会場	講師	参加者数
平成 28 年 8 月 9 日 市総合福祉センター	山本 洋二氏 (face 代表取締役：眼鏡士)	親子等 11 組 27 名
平成 29 年 3 月 18 日 市総合福祉センター	木下 定宣氏 (Racconto 代表取締役認定眼鏡士)	親子等 8 組 19 名

⑩地域で広げる「まつやま介護予防体操」製作事業【聖カタリナ大学協働事業】

【新規事業】

平成 26 年度に実施した「元気高齢者介護予防等についての意識調査」及び、平成 27 年度に実施した「介護予防効果促進モデルサロンの調査」の検証結果に基づき、聖カタリナ大学と協働して高齢者の心身の状況を踏まえた松山らしい介護予防体操を製作、地域の介護予防意識の向上を図った。

ア. 製作枚数

地域で広げるまつやま介護予防体操「ゆげゆげ体操」 屋外偏：3分56秒 / 屋内偏：3分24秒		CD (音楽) 500 枚 DVD (動画) 400 枚
企画・総括 丸山 裕司 (聖カタリナ大学教授)		
体操監修 武井 正子 (順天堂大学名誉教授)		
音楽・映像 福富 秀夫 (沖縄県立芸術大学名誉教授)		
う た 田中 悦子		

イ. 製作発表

開催日 / 会場	内容	参加状況
平成 28 年 11 月 9 日 市総合福祉センター	活動援助員研修会 ①「まつやま介護体操」製作発表DVD紹介 講師 丸山 祐司氏 (聖カタリナ大学教授) ②「まつやま介護予防体操」発表会 ～みんなで体操 介護予防！～ 講師 武井 正子氏 (順天堂大学名誉教授)	サロン 162 名：278 名 地区社協 12 地区：12 名

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①マイクロバス運行事業

市社協が所有するマイクロバスを無償で貸出し、市社協や地区社協事業に活用することにより、地域福祉活動の拡大を図った。

利用団体	件数	利用者数
サロン (地域交流サロン含む)	158 件	2,834 名
地区社協・民協	62 件	1,086 名
その他	16 件	321 名
合計	236 件	4,241 名

②地域交流サロン運営事業

子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に上げた地域交流サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう地域福祉の増進を図った。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	備 考
34 サロン	1,416,000 円	1 サロン：1 開催 3,000 円（15 回を限度） 新規開設時 20,000 円

イ. 実施サロン一覧

No	サロン名	地区	実施回数	延利用者数	平均利用者数
1	東築山町サロン	八坂	12 回	354 名	29.5 名
2	子育てサロンどいだ	雄郡	12 回	526 名	43.9 名
3	子育てサロンゆうぐん	雄郡	13 回	427 名	32.9 名
4	サロン遊学塾	雄郡	13 回	262 名	20.2 名
5	やよいサロン	雄郡	10 回	136 名	13.6 名
6	どんぐり倶楽部・清水	清水	18 回	378 名	21 名
7	余土子育てサロン	余土	12 回	387 名	32.3 名
8	垣生交流サロン	垣生	15 回	350 名	23.4 名
9	佐古いきいきサロン	生石	15 回	179 名	12 名
10	サロン桃山	生石	15 回	260 名	17.4 名
11	すこやかサロン	生石	30 回	348 名	11.6 名
12	T.Oスマイルサロン	生石	18 回	254 名	14.2 名
13	津田イキイキサロン	味生	15 回	205 名	13.7 名
14	サロンなでしこ	味生	15 回	226 名	15.1 名
15	丸ちゃん班	味生	15 回	235 名	15.7 名
16	クラブそよ風	潮見	59 回	381 名	6.5 名
17	ひまわり	潮見	18 回	218 名	12.2 名
18	七曲りいろりの場	久枝	15 回	178 名	11.9 名
19	なかよしクラブ	堀江	21 回	210 名	10.0 名
20	伊台の実家	伊台	24 回	314 名	13.1 名
21	どんぐり	小野	16 回	290 名	18.2 名
22	ペチャくちやサロン IN 白山会	石井東	11 回	264 名	24.0 名
23	交流サロンマンボ	石井東	15 回	662 名	44.2 名

24	星ぐるま	石井東	13回	727名	56名
25	石井西健康マージャン脳トレ教室	石井西	16回	397名	24.9名
26	ひまわりの会	久谷	15回	231名	15.4名
27	上野団地コスモスの会	久谷	10回	180名	18.0名
28	くにつチャイルドクラブ	正岡	12回	210名	17.5名
29	光洋台“稗の会”	栗井	14回	234名	16.8名
30	ドリーム・キッズ	栗井	15回	333名	22.2名
31	A Bクラブ	栗井	17回	203名	12名
32	中島みらいクラブ	中島	15回	441名	29.4名
33	あまやま交差点	—	12回	163名	13.6名
34	手話で話そう会	—	24回	633名	26.4名
合 計			570回	10,796名	19名

③道後温泉廃棄浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体（社協会員等：3団体）と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の開発・製作を行い、高齢者・障がい者の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPRを行った。

項 目	内 容 等
ブランド名	松山トリコ
製 品	<ul style="list-style-type: none"> ○おじゃみクッション 製作：110個 ○湯玉トートバック（Lサイズ・Sサイズ） 製作：75個 ○紙の湯カードケース（シングル・ダブル） 製作：50個 ◎湯あがりコースター（3枚セット） 製作：270個 ◎湯あがりカバー 製作：230個 「◎」印・・・平成28年度新作

④であいと学びの親子体験会

福祉施設を会場にして就学前の親子の交流を実施することで、親同士の情報交換の機会を提供するとともに、歌・手遊び・玉入れ・魚釣りゲームやお話交流などを施設利用者と親子で行うことにより世代間交流や福祉学習の推進を図った。

地区	実施日 / 会場	参加者数	内 容
雄郡	平成28年11月12日 特別養護老人ホーム 和光苑ゆうぐん	子育て交流サロンゆうぐん 15名（親子6組） 施設利用者 15名	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイパラシュート ・魚釣り ・くだもの収穫 ・風船バレー ・エプロンシアター など
栗井	平成28年11月26日 高齢者総合福祉施設 あわい	ドリームキッズ18名 （子育てサロン：親子6組） 施設利用者 14名	<ul style="list-style-type: none"> ・玉入れ ・輪投げ ・ペットボトルボーリング ・魚釣り ・風船バレー など

⑤子育て親子・小・中学生交流授業開催事業

乳幼児との関わりをもつ経験の少ない思春期を迎えた中学生などを対象に、実際に子どもとふれあうことで「親になること」「子育ての大変さ」などを体験する機会を提供するとともに、子育て中の親子に対しても本事業がきっかけとなって、地域住民との交流が促されることで、地域のコミュニケーション力の醸成を図った。

実施校	協力地区	開催日	対象学年	参加者数
三津浜中学校	三津浜地区社協・民協 及び 宮前地区社協・民協	平成 28 年 7 月 13 日	3 年生	生徒 160 名 親子(32 組) 68 名 地区 18 名 NPO 15 名
道後中学校	道後地区社協・民協 及び 湯築地区社協・民協	平成 28 年 10 月 14 日	3 年生	生徒 172 名 親子(40 組) 82 名 地区 13 名 NPO 20 名

⑥福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動を支援した。

助成団体数	助 成 額
15 団体（松山市障害者団体連絡協議会等）	720,000 円

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の構築を図った。（平成 29 年 3 月 31 日現在）

登録者数	活用事例
10,772 名（新規：420 名）	11 件（累計 118 件：平成 23 年 7 月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症 7 件、中症 2 件、重症 0 件、不搬送 2 件、死亡 0 件

②認知症高齢者 SOS ネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明者となった高齢者を早期発見・保護するためのネットワークの構築を図った。

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

搜索協力者数	利用高齢者数	活用例数
1,492 名（新規：125 名）	274 名（新規：64 名）	13 件 （累計 18 件：平成 25 年度から）

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉総合窓口で職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	来所相談	電話相談	訪問・同行	その他	合計
相談件数 (延件数)	479件 (1,399)	283件 (2,380)	7件 (230)	0件 (443)	769件 (4,452)

*その他は所内会議、他機関との会議、支援調整会議を含む。

イ. 支援計画

内容		件数	備考
計画作成検討		141件	支援調整会議 141回
計 画 作 成 (支 援 決 定)	就労支援	59件	内就労者数 18件
	準公的サービス利用	12件	
	生活福祉資金利用	41件	
	その他	21件	住居確保給付金支給等
	合計	133件	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉総合窓口で職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談並びに発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう問題解決に向けた支援・助言を行った。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合計
延件数	679件	1,345件	378件	3,596件	374件	44件	1,742件	93件	8,251件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

()内は解決に至った件数

	福祉サー ビスの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医療	不安の解消 ・情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延件数	1,816件 (1,816)	271件 (271)	330件 (330)	2,446件 (2,446)	30件 (30)	257件 (257)	840件 (840)

	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合計
延件数	450件 (450)	645件 (645)	9件 (9)	114件 (114)	1,043件 (1,043)	8,251件 (8,251)

ウ. 松山市発達障がい者就労支援研修会の開催

発達障がい者支援（就労）と理解促進のための啓発を目的として、市民を対象に研修会を開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 3 月 18 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
参加者数	250 名（一般企業、地区社協・民協、医療・教育・福祉関係者等）
内 容	実践報告 内 容 「発達障がい者就労の実践について」 報告者 近藤 浩之氏（障害者支援施設かなさんどう施設長） 講 演 演 題 「発達障がいの子育てから学んだこと」 講 師 堀内 祐子氏、堀内 謙人氏

エ. 松山市障がい者虐待防止等研修会の開催

虐待防止についての理解促進を目的として、松山市内障がい者福祉サービス事業所職員を対象に研修会を開催した。

項 目	内 容 等
開催回数	9 回（平成 28 年 7 月 13 日 ～ 10 月 3 日）
会 場	松山市内 7 箇所の障がい者支援施設及び市総合福祉センター
参加者数	213 名（146 事業所）
内 容	テーマ 「虐待防止の体制づくり」 ～虐待防止実践に対する検証グループワーク～ 講 師 米子 香苗氏（株式会社 Parati ときめき支援室長）

オ. 松山市障がい者差別解消法研修会の開催

平成 28 年 4 月 1 日施行の障害者差別解消法についての理解促進を目的として、松山市内障がい者福祉サービス事業所職員を対象に研修会を開催した。

項 目	内 容 等
開催回数	3 回（平成 29 年 1 月 12 日・27 日、2 月 16 日）
会 場	市総合福祉センター
参加者数	131 名（62 事業所）
内 容	演 題 「障がい者差別解消法と事業所の取り組みについて」 ～障がい者差別解消法で定められていることは何？～ 講 師 山本 克司氏（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）

(3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

ア. 契約件数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	6 件 〔 新規 2 件 〕 〔 終了 1 件 〕	18 件 〔 新規 2 件 〕 〔 終了 7 件 〕	52 件 〔 新規 7 件 〕 〔 終了 3 件 〕	10 件 〔 新規 2 件 〕 〔 終了 0 件 〕	86 件 〔 新規 13 件 〕 〔 終了 11 件 〕

*〔 〕 は、平成 28 年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
13 名	1,628 回	1,661.5 時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

①生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、愛媛県社協に対し資金貸付申請の進達を行った。また、今年度より相談窓口を松山市役所に設置されている福祉総合窓口へ配置換えし、生活困窮者自立相談支援事業と連携して効果的な相談支援を行った。

申請内容	相談件数	申請件数
(1)総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	69 件	2 件 1 件 0 件
(2)福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	1,086 件	4 件 41 件
(3)教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	306 件	9 件
(4)不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	228 件	1 件 6 件
(5)その他 (償還猶予申請等)	—	17 件
合 計	1,689 件	81 件

②臨時特例つなぎ資金貸付事業

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者が給付金又は貸付金の交付を受けるまでの間、安定した生活を送ることができるよう当面の生活費の貸付について愛媛県社協と連携し、必要な援助指導を行った。

相 談 内 容	相談件数	貸付件数
臨時特例つなぎ資金	26 件	1 件

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用人数	備 考	
8,337 団体	214,240 名	施設見学 有料利用	1 団体 48 名 6 件 284 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行 事 名	開 催 日	参加者	内 容
認知症に関する講演会	平成 28 年 11 月 19 日	350 名	演題 「いきいき脳のつくり方」 講師 古賀 良彦氏 (杏林大学名誉教授)
まつやま優秀映画鑑賞 推進事業 (懐かしの名画劇場 2016)	平成 28 年 12 月 10 日	1,100 名	① めし ② おかあさん ③ 流れる ④ 乱れ雲
地域福祉活動推進 講演会	平成 29 年 2 月 18 日	250 名	演題 「より良く生きるための活動」 講師 矢野 雅世氏 (終活サポート協会理事長) 演題 「生老病死、生き方のコツ」 講師 高橋 卓志氏 (神宮寺住職)
手話に関する講演会	平成 29 年 3 月 5 日	200 名	演題 「「きく」は一時の恥、 「きかれる」は・・・。」 ～認知症診療で感じられる聴 覚との関係～ 講師 谷向 知氏 (愛媛大学大学院医学系研究科教授)

ウ. キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内 容 等	
開催回数	7 回 (平成 28 年 7 月 21 日 ～ 平成 29 年 1 月 4 日)	
開催時間	9 : 00 ～ 17 : 00 (8 : 00 から受入、18 : 00 まで預り)	
会 場	市総合福祉センター外	
参加者数	児童 22 名、専任スタッフ 2 名、ボランティアスタッフ 33 名	
カリキュラム	○マイボックスづくり ○愛大ミュージアムに行こう！ ○新聞について学ぼう！ ○書き初めに挑戦！	○陶芸に挑戦！ ○英語を楽しく学ぼう！ ○手話を楽しく学ぼう！ ○スポーツレクリエーション 等

エ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2016」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	平成 28 年 11 月 19 日	平成 28 年 11 月 20 日
内 容	○ボランティア団体発表会 ○子ども発表会 ○認知症に関する講演会（再掲） ○余剰品販売コーナー ○お茶席 ○高齢者等人権安心相談コーナー ○ペタンク体験コーナー等	○ものづくり体験教室 ○子どもの絵本図書館と遊び場 健康機器体験コーナー ○マッサージコーナー ○車いす体験 ○要約筆記体験 ○お楽しみ抽選会 等
	○障がい・権利擁護相談 ○食べ物・販売・お食事コーナー ○要約筆記・手話体験 ○スタンプラリー	○障がい者団体バザー ○サロン事業作品展示 ○朗読・点字を学ぼう ○各種団体による展示コーナー 等
来館者数	延 3,500 名	
広 告	52 団体・企業（広告収入：295,000 円）	
参加団体	62 団体（ボランティア・福祉団体等）	

オ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進を図った。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合計
保 管 数	2,388 冊	186 冊	1,503 本	282 本	138 枚	4,497 点
貸出件数	31 件	0 件	148 件	10 件	20 件	209 件

カ. ロビー展等

市総合福祉センターの活性化と福祉に対する理解者の拡大を図るため、ロビー等の有効活用を図った。

実 施 内 容		実 施 期 間 等
ロビー展等	ア. 日本赤十字社献血バスによる献血	平成 28 年 6 月 7 日
	イ. 赤い羽根共同募金ポスター展示	平成 28 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日
	ウ. ちょうかいちょうのキョウコちゃん原画展	平成 28 年 10 月 27 日 ～ 11 月 6 日
	エ. サロン作品展	平成 28 年 11 月 21 日 ～ 30 日
	オ. 災害ボランティアに関するパネル展	平成 29 年 3 月 10 日 ～ 17 日
募金箱の設置	ア. 日赤社資募集募金箱設置	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
	イ. 共同募金募金箱設置	平成 28 年 10 月 1 日 ～平成 29 年 3 月 31 日
	ウ. 平成 28 年熊本地震義援金募金箱設置	平成 28 年 4 月 15 日～

	エ. 台風 10 号災害義援金募金箱設置	平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
	オ. 鳥取県中部地震義援金募金箱設置	平成 28 年 10 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日
その他	ア. ご意見箱の常設（1 階・4 階・5 階）	平成 28 年 4 月 1 日 ～（平成 19 年 8 月 1 日設置）
	イ. 東日本大震災支援ベルマーク収集箱設置	平成 28 年 4 月 1 日 ～（平成 23 年 9 月 1 日設置）
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルー（世界自閉症啓発デー） 平成 28 年 4 月 2 日 ・オレンジ（世界アルツハイマーデー） 平成 28 年 9 月 19 日 ・レッド（赤い羽根共同募金運動） 平成 28 年 10 月 1・2 日、11 月 1 日、12 月 1 日

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理を行った。（平成 29 年 3 月 31 日現在）

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
45 台	51,931 名	1,752 団体	1,440 社

(3) 番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供した。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
367 団体	4,268 名

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営を行った。

ア. 利用状況

延利用団体数	延利用者数
599 団体	13,414 名

イ. 講座等の開催

行事名	開催日	延参加者数	内容
北条文化の森 いきいき講座事業	6 回 (平成 28 年 7 月 29～ 9 月 8 日)	99 名	目的 地域住民の健康と仲間づくり 内容 写経、苔玉づくり、俳句、応急手当、体幹体操等
松山健康づくり 体操教室事業（北条）	40 回 (平成 28 年 4 月 20 日 ～平成 29 年 3 月 22 日)	1,683 名	目的 運動機能の維持向上、介護予防 内容 マットやボール等を使った体操、血圧測定、体力測定等

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に寄与した。

ア. 地域交流事業

項 目	対 象	開催回数	延参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00～15:00)	介護保険対象外の概ね65歳以上の方	90回	1,097名
交流授業	清水小学校児童	52回	4,451名
地域交流イベント (清水小ふれあいバザーへ参加)	清水小学校児童・保護者等	2回	67名
しみずサポート ボランティアの活動	大学生等	186回	810名

イ. 講座等の開催

行 事 名	開 催 日	延参加者数	内 容
シニアライフ講座	10回 (平成28年6月1日～8月3日)	175名	笑いヨガ、高齢者施設と介護サービス認知症について、成年後見制度について、終活について等10テーマ
シニアサポート講座	3回 (平成28年7月30日～8月1日)	60名	高齢者の身体と心の変化、高齢者の疑似体験、認知症について、劇で学ぶ認知症、自分たちにできること
シニアPCチャレンジ	15回 (平成28年10月21日～平成29年3月3日)	109名	パソコン操作についての基本知識、文書や年賀状等の作成、表計算、家計簿、住所録等の作成、インターネットの活用方法やメールの送受信等

ウ. 清水地区社協への協力（主な協力事業）

項 目	延利用者数
清水地区社協業務・しみず祭等	1,650名
地区社協会議等	571名
ふれあい教室（絵手紙・書道等9教室等）	3,980名
トーンチャイムボランティア活動	436名
合計	6,637名

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消を図った。

実利用者数	延訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,280名	260,207回	370名	400件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生共同組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減を図った。

利用券交付者数	延利用者数	新規申請者数
18名	31名	7名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、利用者の心身の負担軽減及び安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者7社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上を図るため、1日1食（昼又は夕）の食事サービスを提供した。

実利用者数	延配食数	新規申請者数
1,124名	143,672食	237名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている64歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上を図るため、レンタル方式により福祉機器を貸し出した（レンタル業者9社）。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
9件	3件	4件

*平成28年度は新規申請3件、返却6件

⑤中高年出会いイベント事業

【自主事業】

独身の中高年を対象として、将来にわたって安定した温もりのある家庭づくりに寄与するとともに、社会的費用の軽減や地域社会における「セイフティネットワーク」の構築を図るために、婚活イベント事業を実施した。なお、事業の方向性を検証するため、平成29年2月に登録者110名（男性56名・女性54名）を対象にアンケートを実施した結果74名（男性36名・女性38名）より退会の申し出があった。

ア.登録状況・実績

（平成29年3月31日現在）

登録者数	イベント開催回数	カップル成立組数	成婚組数
36名（男20名、女16名）	3回	16組	1組

イ. 松山市社会福祉協議会 de 愛イベント～中高年世代の婚活を応援します～の開催

開催日 / 会場	内 容 等
平成 28 年 9 月 3 日 14:00 ～ 16:00 市総合福祉センター 5 階 中会議室	内 容 えひめ結婚支援センターと連携し、45 歳以上の結婚希望者 に対し、相性チェックゲームやプロフィールトーク、フリー トーク等を実施。 参加者数 28 名：男性 14 名・女性 14 名（カップル成立組数：6 組）
平成 28 年 11 月 5 日 13:30 ～ 16:30 市総合福祉センター 5 階 中会議室	内 容 えひめ結婚支援センターと連携し、40 歳以上の結婚希望 者に対し、ビンゴゲームやプロフィールトーク、フリート ーク等を実施。 参加者数 31 名：男性 15 名・女性 16 名（カップル成立組数：7 組）
平成 29 年 2 月 4 日 13:30 ～ 16:30 市総合福祉センター 5 階 中会議室	内 容 えひめ結婚支援センターと連携し、40 歳以上の結婚希望者 に対し、相性チェックゲームやプロフィールトーク、フリー トーク等を実施。 参加者数 29 名：男性 15 名・女性 14 名（カップル成立組数：3 組）

⑥小地域防災ネットワーク構築事業

【県社協補助事業】

第 8 ブロック（旧北条市地域）において、災害時の演習を通じて知識と備えについて学び、地域住
民が福祉避難所として活用する「北条社会福祉センター」での被災時活動状況把握を行った。

実施地区	第 8 ブロック（浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井地区）
実施場所	北条社会福祉センター
協働団体	第 8 ブロック地区社会福祉協議会連絡会及び松山市民生児童委員協議会、 松山市シルバー人材センター、地域包括支援センター北条、 北条福祉施設交流会、聖カタリナ大学ボランティアセンター
検討会議	5 回開催（平成 28 年 8 月 25 日より）
実施内容	開 催 日 平成 28 年 12 月 3 日 10:00 ～ 13:50 内 容 ①非常食炊き出し アルファ米（ワカメご飯・チキンライス）、トン汁、パン 参加者 150 名 ②講演会 演 題 避難所におけるボランティアと心のケア 講 師 高須賀 紀子氏（日赤県支部救急法指導員） 参加者 50 名

(2) 介護予防促進事業

①離島介護サービス対策事業

【市受託事業】

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等
に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援を行った。

開催場所	回 数	延利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	8 回	99 名	12.3 名	介護サービス相談、介護予防レクリ エーション、健康相談・介護相談、 健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8 回	37 名	4.6 名	

②ふれあい・いきいきサロン運営事業

【市受託事業】

地域で生活している高齢者等と地域のボランティア等が気軽に集まり、地域の介護予防の拠点として、世代間交流などのサロン活動を通して心身機能の維持向上を図ることを目指しサロン事業を実施した。また、昨年に引き続き、サロンの介護予防メニューの開発及び効果測定方法を検討するため、介護予防推進チーム会議を開催した。

ア. 登録者状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	登録数	備考 (内訳)	
		年齢区分	人数
利用者 (60 歳以上)	8,122 名	60 - 64 歳	312 名
		65 - 69 歳	1,115 名
		70 - 74 歳	1,748 名
		75 - 79 歳	1,971 名
		80 - 84 歳	1,827 名
		85 歳以上	1,149 名
活動援助員	1,844 名		
講師	682 名		

イ. 活動状況

サロン数	開催回数	延利用者数	平均利用者数
243 サロン	6,339 回	99,921 名	15.8 名

ウ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 250 サロン
調査期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 9 月 30 日

エ. 各サロン (地区) 諸会議等の開催

項目	地区数	回数
サロン代表者会	4 地区	37 回
活動援助員研修会	11 地区	16 回
サロン活動紹介・情報交換会	4 地区	4 回
他団体との情報交換会	74 団体	105 回

オ. 松山市ふれあい・いきいきサロン介護予防推進チーム会議の開催

開催日 / 会場	内容	参加者
平成 28 年 6 月 28 日 聖カタリナ大学	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度介護予防強化促進モデル事業成果について 平成 28 年度介護予防強化促進モデル事業について 	7 名 (学識経験者、地区社協、サロン、市担当課、市社協)

カ. 研修会

開催日	内容	参加状況
平成 29 年 1 月 26 日	事業説明会 ・平成 29 年度松山市ふれあい・いきいきサロン事業の見直しについて	サロン 203 サロン : 356 名 地区社協 21 地区 : 30 名

キ. サロン農園事業

地元農家の協力を得て、遊休農地等の活用と男性利用者の拡大を図るため、サロン農園を実施した。

実施サロン数	12 サロン
--------	--------

ク. 広報啓発等

啓発方法	啓発内容等	
「ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	発行回数	12 回（月 1 回発行）
	発行部数	400 部（サロン関係者等への送付）
ふれあい・いきいきサロン実践事例集 web サイト版の運営	243 サロンやサロン農園の活動状況及び「サロン通信」を掲載	
サロン作品展	作品展	「若草福祉まつり 2016」 期間 平成 28 年 11 月 19 日・20 日 会場 市総合福祉センター 3 階
	ロビー展	期間 平成 28 年 11 月 21 日 ～ 30 日 会場 市総合福祉センター 1 階 ロビー
		期間 平成 28 年 12 月 3 日 ～ 14 日 会場 北条社会福祉センター 2 階 ロビー

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	82 種類 223 個	266 件
プロジェクター・DVD 等	33 タイトル 94 枚	94 件

③松山健康づくり体操教室事業（若草）

【自主事業】

高齢者を対象に、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続を目指し、体操教室を実施した。

項 目	内 容 等
実施回数	80 回（前期：40 回・後期：40 回）
実施期間	平成 28 年 5 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 24 日 前期：平成 28 年 5 月 10 日 ～ 平成 28 年 9 月 13 日 後期：平成 28 年 10 月 17 日 ～ 平成 29 年 3 月 13 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
延参加者数	3,899 名（前期：1,898 名・後期：2,001 名）

④まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を図った。

項目	内容等
開催回数等	10回（平成28年5月13日～11月11日） プレ講義（自己紹介・事業説明等） 平成28年5月13日 大学祭（余剰品バザーコーナー参加） 平成28年10月29日 校外学習・交流会（吉海町） 平成28年11月11日
会場・共催	聖カタリナ大学
延参加者数	435名

(3) 聴覚総合支援事業

①聴覚総合相談事業

【市受託・指定管理事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援を行った。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	関係機関	合計
延件数	2,409件	3,494件	1,617件	219件	7,739件

イ. 支援内容（連絡調整含む）

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延件数	363件 (363)	8件 (8)	481件 (481)	90件 (90)	20件 (20)	135件 (135)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延件数	69件 (69)	703件 (703)	116件 (116)	377件 (377)	16件 (16)	1,309件 (1,309)

	登録通訳者	啓発活動	講演会等へ通訳者を紹介 注1	その他	合計
延件数	1,784件 (1,784)	198件 (198)	1,724件 (1,724)	346件 (346)	7,739件 (7,739)

*（ ）内は解決に至った件数。

注1 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

紹介人数	576名
内 容	えひめアビリンピック、人権啓発フェスティバル、県精神保健福祉大会、日本社会福祉士全国大会、えひめマラソン、市民フェスタ、愛媛大学、松山大学、松山法人会、愛媛障害フォーラム、地域カパワーアップ大会、県教育委員会 等

②手話通訳者設置事業

【市受託・指定管理事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援を行った。

内 容	身体障 害者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件数	41 件	26 件	47 件	52 件	25 件	9 件	136 件	77 件	27 件	1 件	34 件	50 件	38 件	257 件	55 件	277 件	1,152 件

③意思疎通支援事業

【市受託・指定管理事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者を派遣した。

ア.登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣										大会等派遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件数 (名)	1,835 (1,835)	2,772 (2,772)	181 (181)	90 (90)	40 (40)	27 (27)	57 (57)	16 (16)	440 (440)	5,458 (5,458)	40 (135)	5,498 (5,593)

イ.登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

項 目	内 容 等
開催回数	12回（平成28年4月25日～平成29年3月13日）
会 場	市総合福祉センター
内 容	「医療場面模擬通訳」、「講演場面の通訳」、「障害者差別解消法」、「身体表現」「ストレッチ」「意見交換」「身体障害者福祉」等
延参加者数	432名

ウ.登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	内 容 等
期 日	平成29年2月7日～23日
受診者数	21名（手話通訳10名、要約筆記者3名、手話・要約筆記者8名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託・指定管理事業】

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導を行い、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催した。

講座名		実施回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 16 名 ・ 夜間 33 名
	手話通訳Ⅰ	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 8 名 ・ 夜間 20 名
	手話通訳Ⅱ	午前 36 回 ・ 夜間 36 回	午前 17 名 ・ 夜間 12 名
	手話通訳Ⅲ	午前 12 回 ・ 夜間 12 回	午前 7 名 ・ 夜間 11 名
医療・介護従事者向け手話講座		40 回	7 名
要約筆記者養成講座		午前 45 回 ・ 夜間 45 回	午前 10 名 ・ 夜間 12 名

イ. 全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 29 年 2 月 19 日
会 場	市総合福祉センター
受験者数	12 名（内合格者 3 名）

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

【市受託・指定管理事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進を図った。

行 事 名	開 催 日	延利用者数	内 容
生活支援訪問	22 回 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)	74 名	制度の情報提供や生活支援 ・入院先の病院にてカンファレンス ・本人宅にて介護相談(包括職員同行) ・松山聾学校にて児童・保護者への生活相談・支援等
中途失聴者・難聴者の手話講座	昼の部 40 回 夜の部 40 回 (平成 28 年 4 月 19 日 ~ 平成 29 年 3 月 27 日)	760 名	手話学習と仲間づくり ・暮らしに関する手話 ・冠婚葬祭に関する手話 等
暮らしセミナー	12 回 (平成 28 年 4 月 18 日 ~ 平成 29 年 3 月 6 日)	209 名	暮らしに役立つ内容を企画 ・マイナンバー ・エコ生活 ・最近の詐欺 ・障害者差別解消法 ・遺産相続等

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、委託先（行政）へ提出した。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	28,578 件	27,772 件	27,834 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	210 件	193 件	193 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	729 件	730 件	726 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,644 件	1,625 件	1,511 件

* 依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となること等から発生

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護職員のスキルアップ研修やグループホーム等の地域密着型サービス事業者への訪問による情報提供・助言等を行うことで、サービスの質の確保と向上、高齢者の虐待防止、適正な介護報酬請求等の理解を促進し、効率的・効果的な介護サービスの提供及び質の向上を図った。

ア. グループホーム等の処遇調査（高齢者虐待防止、身体拘束ゼロに向けて）、訪問、運営推進会議への参加等

対象施設	設置数	延訪問回数
グループホーム	115 施設	120 回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 施設	0 回
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11 施設	7 回
小規模多機能型居宅介護事業者	50 施設	52 回
看護小規模多機能型居宅介護	4 施設	1 回
認知症対応型通所介護事業者	18 施設	8 回
夜間対応型訪問介護	1 施設	1 回
地域密着型通所介護	79 施設	50 回
合 計	279 施設	239 回

イ. 集団・テーマ別研修の開催

研修名	開催日	延参加者数	内 容
集団研修	7 回 (平成 28 年 8 月 17 日～ 3 月 30 日)	320 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアのための研修 ・ 介護職員スキルアップ研修 ・ ケアプラン研修 ・ 介護職員技術研修

②ケアプラン評価等事業（ケアマネジメント適正化推進事業）

【市受託事業】

ケアプラン評価等事業をより効率的・効果的な事業とするため、平成 29 年 1 月より事業名を「ケアマネジメント適正化推進事業」に改め、新たに検討委員に医療・看護の専門職と理学療法士を加え、事例提供者と検討委員と一緒に協議しながら、事例提供者の経験年数に考慮した助言を行うなど、ケアプラン作成能力の向上を図った。

項目	ケアプラン評価等事業	ケアマネジメント適正化推進事業
開催回数	9 回	3 回
検討委員	4 名	6 名（主任介護支援専門員 4 名、医療・看護の視点を有する介護支援専門員有資格者 1 名、リハビリの視点を有する委員 1 名）
評価対象ケース	18 ケース（居宅介護支援事業所） * 社協において対象事業所を選択	6 ケース（居宅介護支援事業所） * 社協において対象事業所を選択
主な検証内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアセスメントによる正確な生活状況の把握と記載方法 ・インフォーマルサービスも含めた個別性のある自立支援に向けたケアプラン作成 ・利用者の思いを反映した具体的な目標設定 ・病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ・利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等 	

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

グループホーム等の地域密着型サービス事業提供施設に介護相談員を派遣し、利用者の視点に立った市民の立場でサービス利用者と事業者の円滑なコミュニケーションを促し、当事者の問題解決能力を高めることにより福祉・介護サービスの改善や向上を図った。

ア. 実施状況

受入グループホーム数	訪問回数	延派遣相談員数	相談件数
5 施設（新規 1 ケ所含む）	89 回	200 名	86 件

イ. 介護相談員研修会（中級）への参加

開催日等	内容等
開催日 平成 28 年 11 月 25 日 会場 県総合社会福祉会館 主催 愛媛県社会福祉協議会 参加者 5 名（介護相談員）	<ul style="list-style-type: none"> ○行政説明 「介護保険制度と介護相談員の役割」 ○講義 「認知症の正しい理解」 ○報告 「介護相談員活動事例報告」 ○演習・情報交換 「介護相談員活動における課題」

④まつやまケアサポステーション事業

【自主事業：新規事業】

居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）を対象に気軽に話し合える場を提供し、日頃抱える悩み事の解消や情報の共有、新たな知識の習得等、ケアマネジャーの資質向上を図った。

項目	内容等
開催日	6 回（平成 28 年 9 月 28 日 ～ 平成 29 年 3 月 17 日）
会場	市総合福祉センター 5 階 中会議室
延参加者数	103 名
内容	課題の抽出及び協議、ケアプラン事例検討、総合事業・倫理的葛藤について協議、個別相談など 進行 福本 由美氏（脳活性サポート会社 gift）

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各関係機関との連携により、地域生活を支える権利擁護支援体制の構築に努めた。

ア. 主な活動

内容	相談件数
成年後見利用支援業務（専門相談、申立支援）	470 件
成年後見活動支援業務（後見人サポート、啓発・研修）	97 件

イ. 専門職無料相談会の開催

項目	開催回数	相談件数	備考
弁護士相談	12 回	31 件	
司法書士相談	12 回	33 件	
行政書士相談	5 回	10 件	平成 28 年 11 月開始

ウ. 普及・啓発活動

内容	延回数	延参加人数
イベント参加	31 回	1,466 名
研修会	8 回	209 名

エ. 講座・研修会の開催

講座名	開催日 / 会場	参加者数	内 容
権利擁護市民セミナー	平成 28 年 7 月 30 日 市総合福祉センター	97 名	<ul style="list-style-type: none"> 講義 「住み慣れた地域で暮らしたい～今だからできる終活～」 講師 小池あゆみ氏、竹中誠実氏 (一般社団法人終活サポート協会)
成年後見制度実務者研修	平成 29 年 3 月 11 日 市総合福祉センター	80 名	<ul style="list-style-type: none"> 講義Ⅰ 「成年後見制度の現状について」 講師 多田 勝久氏 (松山家庭裁判所主任書記官) 講義Ⅱ 「松山市における成年後見制度の取り組みについて」 講師 松山市介護保険課 講義Ⅲ 「職種別による専門職後見人の特徴について」 講師 淡川 佐保子氏 (愛媛弁護士会) 山崎 元昭氏、谷本 亜希美氏 (リーガルサポートえひめ支部) 村口 毅氏 (愛媛県社会福祉士会 ぱあとなあ愛媛)

オ. 行政書士無料相談業務に関する覚書 調印式

開催日	平成 29 年 2 月 25 日
会場	市総合福祉センター 1 階 会議室
調印者	愛媛県行政書士会
内容	行政書士無料相談業務の実施 毎月第 3 木曜日 13:30 ~ 15:30

(2) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症等によって判断能力が不十分な方を対象に、権利擁護及び生活の質の向上を図るため、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）を受任し、財産管理や身上監護を行った。

ア. 受任件数

	被後見人数				合計
	市長	親族	本人	職権	
後見	12 件 (終了 2 件)	3 件	1 件	1 件	17 件 (終了 2 件)
保佐	—	—	1 件	—	1 件
補助	—	—	—	—	0 件
合計	12 件 (終了 2 件)	3 件	2 件	1 件	18 件 (終了 2 件)

* () は、平成 28 年度新規受任及び終了件数

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

生活支援員登録者数	延活動回数	延活動時間数
6 名	131 回	306 時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与するとことを目的に、市民後見人の養成を行った。

ア. 研修会等の開催

講座名	開催日 / 会場	参加者数	内 容
市民後見人養成講座修了者ステップアップ研修会	平成 28 年 10 月 20 日 市総合福祉センター	11 名	講義 「相談対応のチェックポイント」 講師 村口 毅氏 (ばあとなあ愛媛)
	平成 28 年 10 月 27 日 市総合福祉センター	13 名	講義 「対人援助におけるコミュニケーション」 講師 一色 麻生氏 (Fushime 塾代表)
	平成 28 年 11 月 17 日 市総合福祉センター	14 名	講義 「重度の知的障がい・発達障がいを抱えた方の支援」 講師 米子 香苗氏 (株式会社 Para ti ときめき支援室長)
	平成 28 年 11 月 24 日 市総合福祉センター	11 名	講義 「グループワーク」 講師 日吉 祐一氏 (ばあとなあ愛媛)
	平成 28 年 12 月 1 日 市総合福祉センター	13 名	講義 「法定後見における成年被後見人死亡後の事務」 講師 山崎 元昭氏 (リーガルサポートえひめ支部)
	平成 28 年 12 月 8 日 市総合福祉センター	12 名	講義 「市民後見人の現状とその将来像」 講師 山崎 元昭氏 (リーガルサポートえひめ支部)
市民後見人養成講座修了者対象フォローアップ研修会	平成 29 年 1 月 13 日 市総合福祉センター	42 名	講義 後見人としての心構え～身元引受人・医療同意等～ 講師 山崎 元昭氏 (リーガルサポートえひめ支部)
	平成 29 年 1 月 25 日 市総合福祉センター	44 名	講義 グループワーク～事例検討～ ①預金の管理方法と金融機関の対応 ②不動産の管理方法 ③本人が交通事故にあった場合の対応 ④本人の保護と意思の尊重 等 講師 山崎 元昭氏 (リーガルサポートえひめ支部)

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進を図るため開催した。

項 目	内 容 等
大 会 名	平成 28 年度 松山市福祉大会
開 催 日	平成 28 年 9 月 7 日
会 場	松山市民会館 大ホール
参加者数	約 1,700 名（福祉関係者）
内 容	○表 彰 319 名・52 団体 ○講 演 演題：「うつくしい、命」 講師：大島 花子 氏

②ボランティア養成講座事業

【市受託・指定管理事業】

広く市民に対して、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進を図ることを目的として、各種ボランティア養成講座を開催した。

講座名	実施回数	修了者数
点 字	初級 20 回 ・ 中級 20 回	初級 6 名 ・ 中級 5 名
手 話（午前）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 21 名 ・ 基礎 17 名
手 話（夜）	入門 18 回 ・ 基礎 22 回	入門 25 名 ・ 基礎 19 名
朗 読	初級 12 回 ・ 中級 13 回	初級 13 名 ・ 中級 11 名